

令和 3 年 6 月 11 日現在

機関番号：16301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02386

研究課題名（和文）地域資料調査に基づく四国遍路の総合的研究

研究課題名（英文）A comprehensive study of the Shikoku Henro based on the research of local historical materials

研究代表者

胡 光 (EBESU, Hikaru)

愛媛大学・法文学部・教授

研究者番号：50612644

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 9,400,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究は、四国各地の歴史資料を調査することで、四国遍路の歴史を解明することを目的とする。四国遍路は「遍路する人々」「遍路を迎える地域」「霊場」の三要素で構成されているが、「霊場」研究が最も遅れていた。その理由は、霊場の資料が信仰の対象とされているために調査されなかったことにある。そこで、各方面の協力を得て、札所から外れた寺院や神社を含めて「霊場」と捉え、「霊場」全体を対象として、四国4県の多様な分野の研究者が結集し、オール四国体制で調査研究を実施した。その成果は毎年、講演会やシンポジウム、愛媛大学ミュージアムや愛媛県歴史文化博物館の展示、研究報告書、研究紀要『四国遍路と世界の巡礼』で公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

四国内の大学・博物館・教育委員会から、民俗学・工芸・彫刻・絵画・考古学・歴史地理・現代文化を担当する研究者が結集し、霊場および関係寺社で、すべての資料を対象に学際的総合的な調査研究を進め、その全容を明らかにするとともに、「霊場資料学」の確立を目指したことが本研究の特徴である。講演会・シンポジウムや展覧会では、研究成果の市民への還元も実施できた。四国では四国遍路の世界遺産化活動が行われていて、その実現のためには、四国遍路の歴史と特徴を明らかにすることが求められており、本研究の成果はこの活動に学術面から寄与するものであり、大きな社会的意義があった。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research is to clarify the history of Shikoku Henro by researching historical materials from all over Shikoku. The Shikoku Henro consists of three elements: "pilgrims," "areas welcoming pilgrims," and "sacred sites," but research on "sacred sites" has been the least. The reason for this is that materials on sacred sites were not studied because they were considered objects of faith. Therefore, with the cooperation of various quarters, researchers from various fields in the four prefectures of Shikoku came together to conduct an all-Shikoku research on sacred sites, including temples and shrines that were not included in the fudoshō. The results of this research were published annually in lectures, symposiums, exhibitions at the Ehime University Museum and the Ehime Museum of History and Culture, research reports, and the research bulletin Shikoku Henro and Pilgrimages of the World.

研究分野：日本近世史

キーワード：学際的研究 霊場資料学 四国遍路の特徴

1. 研究開始当初の背景

近年四国遍路は多くの研究者の関心を集めるようになり、浅川泰宏『巡礼の文化人類学的研究』(2008年)、頼富本宏『四国遍路とはなにか』(2009年)、星野英紀・浅川泰宏『四国遍路』(2011年)、森正人『四国遍路』(2014年)などの研究書が刊行されている。しかし、それらはいずれも宗教学・地理学・文化人類学の研究者による個別研究であり、歴史学をベースにした学際的な共同研究は、次に述べる愛媛大学のグループによる研究以外にはみあたらない。

愛媛大学教員を中心とする研究グループは、2003年から四国遍路と世界の巡礼の歴史的解明と国際比較を目的に共同研究を続け、これまでに3度にわたって科研費を得、研究成果として毎年の報告書のほか、『四国遍路と世界の巡礼』(法蔵館、2007年)、『巡礼の歴史と現在』(岩田書院、2013年)などを刊行した。しかし、四国遍路研究に不可欠の霊場(札所)調査は非常に遅れており、そのため四国遍路の歴史には不明の点が数多く残されている。前回の科研から霊場調査に着手したが、四国4県庁による調査を加えても、四国霊場八十八ヶ所のうち調査が完了したのは、愛媛4寺・香川6寺・徳島3寺・高知2寺(計15寺・17%)に過ぎない。さらに、古代中世には四国霊場だったと考えられる奥之院20ヶ寺など札所にならなかった古刹や、江戸時代までは札所であった神社の調査は皆無である。四国遍路研究を前進させるためには、霊場および関係寺社の資料調査が喫緊の課題である。そこで今回は、研究目的を霊場資料の学際的総合資料調査研究と古代から現代に至る霊場の歴史的実態解明に絞り、新たな研究体制を整え、これまでの共同研究で果たし得なかった課題を解決するため研究を開始した。

2. 研究の目的

四国遍路は、古代に始まり現代まで続いている巡礼である。毎年多くの人々が遍路のため四国を訪れ、四国遍路への関心は年々高まっている。しかし、日本史分野からの研究が少なく、霊場(札所)の資料調査が十分には行われていないため、四国遍路の歴史には未解明の部分が多い。霊場の資料調査を行い、四国遍路の歴史を明らかにすることは喫緊の課題である。本研究の目的の第一は、四国4県のさまざまな学問分野の研究者が結集し、霊場および関係寺社で、すべての資料を対象に学際的総合的な調査研究を進め、その全容を明らかにするとともに、「霊場資料学」の確立を目指すことである。第二は、霊場の歴史において重要な七つの論点を設けて集中的に研究を進め、古代から現代に至る霊場の歴史的実態を学際的総合的な視点から解明することである。

3. 研究の方法

本研究では、以下の三つの方法により、これまでの研究成果をさらに発展させた。

第一は、霊場の資料調査と歴史研究を中心に研究を進めたことである。四国遍路は「遍路をする人々」「遍路を迎える地域」「霊場」の三要素で構成されているが、最も研究が遅れているのが「霊場」であり、その主たる理由は、霊場調査が十分にはなされていないことにあった。そこで本研究では、課題を霊場の学際的総合資料調査と霊場の歴史的実態の解明に絞り込んだ。

第二は、札所から外れた寺院や神社を含めて「霊場」と捉え、「霊場」全体を対象として調査研究を実施したことである。四国には札所と同等の歴史を持ちながら札所にならなかった古刹寺院、および神仏分離令で札所から離れた神社がいくつもあり、霊場の歴史を正しく把握するにはそれらの寺社も研究対象にする必要がある。そこで本研究では、それらも含めて学際的な総合調査と歴史研究を行い、四国遍路研究を前進させた。

第三は、論点(検討課題)を設けて霊場の歴史を解明することである。霊場の歴史には未解明の点が多く、八十八の札所がいつ、誰によって、どのように選定されたかすらわかってはいない。そこで本研究では、霊場の歴史を解明するために必要な七つの論点を設け、そこに議論を集中させることにより、霊場の歴史的事実を明らかにした。

- 論点 .四国霊場における弘法大師信仰以前の基層的信仰
- .四国霊場八十八ヶ所の成立過程
- .四国霊場における弘法大師信仰の定着と発展の過程
- .明治維新による四国遍路の衰退と四国霊場の復興過程
- .戦争と四国霊場の関係
- .四国霊場と遍路道の景観復元
- .現代の四国遍路と霊場の実態

4 . 研究成果

本研究開始以前には、四国霊場第 45 番札所岩屋寺(久万高原町)・第 51 番札所石手寺(松山市)・第 52 番札所太山寺(松山市)の調査を実施し、本研究において、岩屋寺については研究論文を、石手寺と太山寺については、研究報告書によって成果を公開した。その成果は、平成 30 年 2 月 17 日~4 月 8 日に愛媛県歴史文化博物館で開催された特別展「研究最前線・四国遍路と愛媛の霊場」でも紹介され、共同研究を推進した。さらに香川県においても、香川県立ミュージアムと共同で、空海誕生地第 75 番札所善通寺の調査を継続している。

一方、札所外の寺社については、久妙寺(西条市)・浄明院(松山市)・大洲八幡神社(大洲市)・金胎庵寺(伊方町)・地蔵寺(小松島市)の調査を実施した。久妙寺は、行基の開基、弘法大師再興とされる古刹で、7、000 点以上の資料を調査し、報告書を刊行したが、新たな資料が発見され補足調査を行った。浄明院は、往古には隣接する弁天山を含む広大な寺域を誇った巨刹で、太山寺との関係も深く、今後の研究が待たれる。大洲八幡神社は、かつて空海が修行したという出石寺の場所にあり、後に現在地に移され、大洲藩総鎮守とされた。大洲市教育委員会から報告書を刊行し、シンポジウムを行った。良港として栄える小松島へ上陸したお遍路さんは、弘法大師開基と言う地蔵寺にも参詣している。徳島県立博物館・徳島城博物館と合同で同寺の彫刻・書画・古文書の総合調査を開始した。

このほか、小豆島や知多半島に作られた写し霊場の研究や、お遍路さんが残した納札の研究、現在のお遍路さんや遍路宿へのアンケート調査なども行った。研究分担者・協力者が個別に進めた研究については、四国遍路・世界の巡礼研究センターの講演会・シンポジウム・研究集会などで報告し、研究紀要に掲載するほか、愛媛大学ミュージアムでも展示した。同センターのホームページを参照されたい。愛媛大学 四国遍路・世界の巡礼研究センター <https://henro.ll.ehime-u.ac.jp/>

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計76件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 胡光	4. 巻 6
2. 論文標題 新発見の遍路日記「四国順拝みちの日記」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 61-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 295
2. 論文標題 四国遍路は世界遺産になりうるか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ひめぎん情報	6. 最初と最後の頁 20-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 87
2. 論文標題 書評 大館右喜著『幻の武州八十八霊場』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関東近世史研究	6. 最初と最後の頁 20-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 34-10
2. 論文標題 四国の文化を世界に発信する四国遍路・世界の巡礼研究センター	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 愛媛ジャーナル	6. 最初と最後の頁 77-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 5
2. 論文標題 霊場資料学の構築と霊場文化の解明による四国遍路の総合的研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 法文学部研究ニューズレター	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 5
2. 論文標題 四国遍路・世界の巡礼研究センター	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 法文学部研究ニューズ	6. 最初と最後の頁 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川岡勉	4. 巻 435
2. 論文標題 中世の高野参詣と伊予	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 235
2. 論文標題 近世・近代移行期における人の国内移動管理と四国遍路	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 2-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 28655
2. 論文標題 感染症をめぐる差別の歴史的構造：明治前期のコレラ流行と遍路統制から考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中外日報	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木亮人	4. 巻 439
2. 論文標題 北条の遍路の墓	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西耕生	4. 巻 442
2. 論文標題 狭衣大将の高野粉河詣 その復路	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 233
2. 論文標題 近世の行き倒れへの着目と課題 四国遍路研究の立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 55-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 50
2. 論文標題 書評「宇山孝人編『麻植を学ぶ(歴史編)』を読んで 地域史をめぐる史実と歴史認識」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史窓	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 244
2. 論文標題 齊藤紘子『畿内譜代藩の陣屋と藩領社会』を読む 村落史研究の立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 119
2. 論文標題 山伏の中世と近世 仙光寺文書は語る	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 徳島県立博物館ニュース	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 8
2. 論文標題 園城寺・熊野・修験道	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 熊野学研究	6. 最初と最後の頁 63-82
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 437
2. 論文標題 四国遍路の形成と聖・山伏	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永友和	4. 巻 438
2. 論文標題 武士の四国遍路	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永友和	4. 巻 6
2. 論文標題 武士の四国遍路 徳島藩士の遍路日記を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 29-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永友和	4. 巻 50
2. 論文標題 史料紹介 大坂町奉行所与力・同心の四国出役関係史料について 古郷家文書「諸御触記録帳」の紹介と翻刻	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史窓	6. 最初と最後の頁 44-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小幡尚	4. 巻 6
2. 論文標題 四国の四つのパコダー眉山公園・善通寺・石手寺・吸江寺のパコダー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 52-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守田逸人	4. 巻 90
2. 論文標題 香川大学図書館神原文庫と所蔵史料について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 106-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上紀夫	4. 巻 22
2. 論文標題 祇園御旅所と『とみくばり』の近世	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 洛北史学	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 422
2. 論文標題 本山寺の開帳	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 595
2. 論文標題 西日本豪雨における愛媛県の資料保全活動	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 愛媛県神社庁報	6. 最初と最後の頁 5 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺内浩	4. 巻 5
2. 論文標題 古代中世における辺地修行のルートについて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 16 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 5
2. 論文標題 四国遍路が歩いた近代の道路	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 19 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹川郁雄	4. 巻 5
2. 論文標題 四国遍路における現代のお接待	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 31 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹川郁雄	4. 巻 21
2. 論文標題 現代の四国遍路における「お接待」の一考察(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文学論叢	6. 最初と最後の頁 91-102
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西耕生	4. 巻 34
2. 論文標題 狭衣大将の高野粉河詣(その往路) - 伝慈鎮筆本『狭衣』をめぐる一	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 33
2. 論文標題 近世・近代移行期の「切畑」分割と村落 阿波国那賀郡那賀川北股筋を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 鳴門史学	6. 最初と最後の頁 15 49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 35
2. 論文標題 近世後期の焼畑小作と村社会 阿波国那賀郡木頭村を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 鳴門教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 261 275
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 232
2. 論文標題 村方文書からみた四国遍路 国元・宿泊・費用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 26 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 モートン常慈	4. 巻 31年度
2. 論文標題 異文化に照らし出された四国～外国語文献と異文化的視点を持つ関連文献の調査から～	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 総合科学部創生研究プロジェクト経費・地域創生総合科学部推進費報告書	6. 最初と最後の頁 61 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 41
2. 論文標題 お接待文化から見た四国遍路のブランド価値	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 調査研究情報誌 E C P R	6. 最初と最後の頁 37-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 -
2. 論文標題 ロスト・ジャパン「四国遍路」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018全通研愛媛研究集録	6. 最初と最後の頁 143-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 90
2. 論文標題 書評・黛まどか『奇跡の四国遍路』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神奈川大学評論	6. 最初と最後の頁 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 411
2. 論文標題 沖縄の巡礼「東御廻り」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光・高嶋賢二・岡本佑弥	4. 巻 4
2. 論文標題 伊方町で発見された愛媛県最古の四国遍路日記	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 89
2. 論文標題 西日本豪雨における愛媛県の資料保全活動	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 史料ネットNewsLetter	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 -
2. 論文標題 未指定文化財の救出と保護	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成30年7月豪雨愛媛大学災害調査団報告書	6. 最初と最後の頁 208-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 418
2. 論文標題 太山寺と伊予の霊場	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 96
2. 論文標題 書評 近藤祐介著『修験道本山派成立史の研究』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民衆史研究	6. 最初と最後の頁 71-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守田逸人	4. 巻 -
2. 論文標題 「讃岐国善通寺領絵図」調査ノート	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 よみがえる荘園	6. 最初と最後の頁 321-355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西耕生	4. 巻 4
2. 論文標題 「山ふみ」と「山めぐり」 古典文学と山林修行	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小幡尚	4. 巻 18
2. 論文標題 高知の戦争史料	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 資料学の方法を探る	6. 最初と最後の頁 19-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺内浩	4. 巻 46
2. 論文標題 弘法大師空海と満濃池修築	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法文学部論集人文学科編	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺内浩	4. 巻 410
2. 論文標題 衛門三郎伝説と熊野信仰	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 モートン常慈	4. 巻 -
2. 論文標題 Henry Noel`s Journey Through Shikoku	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 異文化に照らし出された四国	6. 最初と最後の頁 70-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永友和	4. 巻 29
2. 論文標題 徳島藩郡代関係文書について 「郡代報告書」の紹介と翻刻	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 徳島県立博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 37-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永友和	4. 巻 -
2. 論文標題 阿波藍をめぐる藍商・紺屋と藩政の動向 藍商手塚家・井上家を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 徳島発展の歴史的基盤	6. 最初と最後の頁 169-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹川郁雄	4. 巻 20
2. 論文標題 「お接待」と儀礼	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文学論叢	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 226
2. 論文標題 遍路をめぐる三つの肖像 近世後期の四国遍路からみた民衆世界	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 2-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 -
2. 論文標題 大坂蔵屋敷と渡海統制 近世前期の徳島藩と四国遍路	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近世巨大都市の社会構造と史料	6. 最初と最後の頁 52-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 7
2. 論文標題 泉州撰待講	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 和泉市の歴史	6. 最初と最後の頁 373-398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 -
2. 論文標題 救出資料の歴史的意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成30年7月豪雨愛媛大学災害調査団報告書	6. 最初と最後の頁 212-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 420
2. 論文標題 明治初期の遍路統制	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 18
2. 論文標題 旧立間村文書の歴史的意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 資料学の方法を探る	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川岡勉	4. 巻 412
2. 論文標題 石手寺の変遷と熊野信仰	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 388
2. 論文標題 蔵の資料論 歴史を伝えることの楽しさ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 101-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 389
2. 論文標題 四国遍路の成立と発展 四国と阿波の求心力	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 15-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 23
2. 論文標題 スペイン・サンティアゴ巡礼と四国遍路	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 今治史談	6. 最初と最後の頁 7-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡光	4. 巻 402
2. 論文標題 四国霊場開創1200年の真実	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 389
2. 論文標題 戦国期阿波国西部の一領主の熊野信仰とその周辺	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 5-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川賢二	4. 巻 3
2. 論文標題 四国遍路の形成と修験道・山伏	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守田逸人	4. 巻 3
2. 論文標題 中世四国における在地寺院の興亡と荘園制	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 15-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西耕生	4. 巻 406
2. 論文標題 「まなび」と「山踏み」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺内浩	4. 巻 399
2. 論文標題 四国遍路のはじまり	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹川郁雄	4. 巻 19
2. 論文標題 四国遍路と私事化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人文学論叢（愛媛大学人文学会）	6. 最初と最後の頁 39-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹川郁雄	4. 巻 403・404
2. 論文標題 質問紙から見る現代の四国遍路	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 388
2. 論文標題 近世後期の山方の産物と請負 『水井村正石灰』を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 81-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 387
2. 論文標題 鳴門史学会の活動について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 89-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 3
2. 論文標題 明治初期の遍路統制 根拠法令とその運用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 29-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川未来	4. 巻 408
2. 論文標題 海を渡った四国霊場	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川岡勉	4. 巻 3
2. 論文標題 四国遍路の形成をどう読み解くか 長谷川賢二氏の講演によせて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 12-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川岡勉	4. 巻 400
2. 論文標題 中世の四国巡礼	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 へんろ	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計89件（うち招待講演 39件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 国史跡指定追加による世界遺産登録への道
3. 学会等名 「四国へんろ道文化」世界遺産化の会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 四国遍路と世界遺産
3. 学会等名 静岡大学公開講座
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 高松松平家の家産経営と地域社会
3. 学会等名 災害文化と地域社会形成史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 コロナ禍が歴史資料を襲う
3. 学会等名 全国史料ネット研究交流集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 須藤茂樹
2. 発表標題 蓮光寺のたからもの
3. 学会等名 石井町ふるさと歴史講座
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 須藤茂樹
2. 発表標題 薬王寺文書を繙く
3. 学会等名 薬王寺文化財調査報告会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 須藤茂樹
2. 発表標題 願勝寺の歴史と文化財
3. 学会等名 みま学講座
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 須藤茂樹
2. 発表標題 願勝寺文書を読む 1
3. 学会等名 みま学講座
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 須藤茂樹
2. 発表標題 願勝寺文書を読む 2
3. 学会等名 みま学講座
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 武士の四国遍路 徳島藩士の旅日記を中心に
3. 学会等名 徳島地方史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 武士の四国遍路 徳島藩士の遍路日記を中心に
3. 学会等名 四国地域史研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 David Moreton and Daniel Milne
2. 発表標題 Ryozen Kannon and the Future of WWII Memorial Sites in Japan
3. 学会等名 Re-examining Asia-Pacific War Memories: Towards a cross-textual, global dialogue.
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人から見た四国遍路
3. 学会等名 シルバー大専大大学院OB会徳島（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人から見た四国遍路の魅力
3. 学会等名 日本青年会議所四国地区協議会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人の視点から見た四国遍路の魅力
3. 学会等名 徳島の文化を学ぶ講演会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人遍路から見たお接待文化や阿波市遍路の魅力
3. 学会等名 阿波市おへんろシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 世界から見た遍路道～外国人遍路の受入可能なまちづくり
3. 学会等名 とくしま・ひと・まち・づくり実践講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小幡尚
2. 発表標題 四国の四つのパコダー眉山公園・善通寺・石手寺・吸江寺のパコダー
3. 学会等名 四国地域史研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 四国遍路の価値と世界文化遺産に向けた課題
3. 学会等名 四国遍路を世界遺産に国際シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 歴史資料修復ボランティアに関するアンケート結果
3. 学会等名 ボランティアの参加を促すものは何か研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 西日本豪雨が歴史資料を襲う（ポスターセッション）
3. 学会等名 全国史料ネット研究交流集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 松尾芭蕉の時代の旅人たち
3. 学会等名 文系研究センター開設記念合同シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 大洲八幡神社文書と祭礼の歴史的意義
3. 学会等名 大洲八幡神社祭礼調査報告会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 美術工芸品をはじめとする動産文化財の調査とレスキュー
3. 学会等名 日本建築士会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 西日本豪雨における愛媛県の資料保全活動
3. 学会等名 西日本大学協議会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 愛媛県における資料保全活動の成果と課題
3. 学会等名 歴史資料ネットワーク総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 明治維新と四国遍路
3. 学会等名 巡礼遍路研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 国府叢書の歴史的背景
3. 学会等名 今治史談会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 四国遍路から見た明治150年
3. 学会等名 西南四国歴史文化研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 寺内浩
2. 発表標題 前近代の歴史的景観
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川未来
2. 発表標題 近代の歴史的景観
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹川郁雄
2. 発表標題 四国遍路における現代のお接待
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守田逸人
2. 発表標題 神原甚造コレクションの成立と古書肆
3. 学会等名 香川大学図書館特別講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守田逸人
2. 発表標題 主要港町と都鄙関係からみた讃岐地域の中世的編成
3. 学会等名 香川歴史学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 町田哲
2. 発表標題 行き倒れへの着目と課題 四国遍路研究の立場から
3. 学会等名 部落問題研究者全国集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 町田哲
2. 発表標題 近世村落史の立場から
3. 学会等名 大阪歴史化学協議会例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 江戸積藍商の取引先について
3. 学会等名 徳島地方史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 園城寺・熊野・修験道
3. 学会等名 国際熊野学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 修験道と阿波の靈山・山伏
3. 学会等名 鳴門史学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人遍路の先駆者フレデリック・スタールとアルフレッド・ボナー
3. 学会等名 徳島シルバー大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路の魅了を世界に伝えたオリバー・スタットラー
3. 学会等名 遍路とおもてなしネットワーク
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 Shikoku: The Centenarian Perspective of Frederick Starr
3. 学会等名 日本アジア研究学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路におけるホスピタリティと国際友情
3. 学会等名 SST全国経験交流ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 世界が注目する四国遍路～外国人にOHENROを紹介する方法～
3. 学会等名 観光コーディネーター養成講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人の見た四国遍路～明治から令和まで～
3. 学会等名 徳島県
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路におけるホスピタリティと国際友情
3. 学会等名 東京工業大学同窓会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路の魅力を世界に伝えたオリヴァー・ストットラー
3. 学会等名 明治大学連携講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路におけるホスピタリティと国際友情
3. 学会等名 プラスチック成形加工学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 スペイン・ガリシア州と四国の協力協定
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 愛媛資料ネットの誕生と活動
3. 学会等名 文化財修復学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 西日本豪雨における愛媛大学の対応
3. 学会等名 歴史文化資料保全西日本大学協議会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 ロストジャパン「四国遍路」
3. 学会等名 全国高校通信制教育研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 人はなぜ四国を巡るのか～四国遍路の求心力～
3. 学会等名 世界遺産登録推進協議会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 西日本豪雨における愛媛資料ネットの活動
3. 学会等名 愛媛県博物館協会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 四国遍路から見る明治150年
3. 学会等名 四国へんろ道文化世界遺産化の会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 阿波と紀伊の文化的交流
3. 学会等名 中世都市研究会徳島大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 守田逸人
2. 発表標題 善通寺伽藍并寺領絵図と周辺地域の歴史過程
3. 学会等名 善通寺市文化遺産推進委員会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西耕生
2. 発表標題 「四国遍路」以前 古典文学と山林修行
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小幡尚
2. 発表標題 高知の戦争史料
3. 学会等名 愛媛大学「資料学」研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 寺内浩
2. 発表標題 弘法大師空海と満濃池修築
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 寺内浩
2. 発表標題 四国遍路「癒しの文化」
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人が体験した100年前の四国遍路の様子
3. 学会等名 四国へんろ道文化世界遺産化の会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 お遍路さんの受入態勢のあり方を考える
3. 学会等名 四国経済連合会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国遍路の魅力を世界に伝えたオリバー・スタットラー
3. 学会等名 放送大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人から見た徳島の魅力～過去から現在まで～
3. 学会等名 徳島シルバー大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 100年前にタイム・スリップ～四国遍路の様子等～
3. 学会等名 善通寺（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国にしかない魅力～四国遍路を通じて～
3. 学会等名 Culture Nippon文化庁（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 100年前の四国遍路の様子
3. 学会等名 徳島大学開放実践センター（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 四国が注目するShikoku88
3. 学会等名 加茂谷へんろ道の会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 Looking Back in Time at the Shikoku Pilgrimage
3. 学会等名 大和日英基金（ロンドン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 100年前の四国遍路の様子
3. 学会等名 明治大学・徳島大学・徳島県連携講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 オリヴァー・スタットラーから見た四国遍路と世界への発信
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 徳島藩郡代からみる阿波の社会情况
3. 学会等名 鳴門史学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 大坂町奉行所与力・同心の四国出役関連資料について 阿波国古郷家文書から
3. 学会等名 徳島地方史研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹川郁雄
2. 発表標題 現代のお遍路さんとお接待について
3. 学会等名 日本看護科学学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 町田哲
2. 発表標題 遍路をめぐる3つの肖像 近世後期の四国遍路からみた民衆世界
3. 学会等名 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 胡光
2. 発表標題 蔵の資料論 歴史を伝えることの楽しさ
3. 学会等名 地方史研究協議会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 胡光・長谷川賢二・守田逸人・川岡勉
2. 発表標題 四国遍路形成史論
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 中世修験道史における阿波
3. 学会等名 徳島地方史研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 Shugendo within Japanese Buddhism（日本仏教における修験道）
3. 学会等名 カリフォルニア大学サンタバーバラ校研究集会Repositioning Shugendo: New Research Directions on Japanese Mountain Religions（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 勝瑞と宗教
3. 学会等名 城下町科研・徳島研究集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川賢二
2. 発表標題 中世の四国辺路と修験道・山伏 四国遍路形成史論をめぐる一視点
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 守田逸人
2. 発表標題 荘園制の展開と信仰の変化 遍路形成史論を視野に
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 モートン常慈
2. 発表標題 外国人の見た四国遍路
3. 学会等名 明治大学・徳島大学・徳島県連携講座（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 江戸時代の四国遍路と札所寺院について考える 第66番札所雲辺寺を中心に
3. 学会等名 四国霊場六番札所安楽寺教学講習会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松永友和
2. 発表標題 阿波藍をめぐる藩政と藍商・紺屋の動向 藍商手塚家と井上家を中心に
3. 学会等名 地方史研究協議会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 町田哲
2. 発表標題 近世後期の『切畑』と村落内関係 阿波国那賀郡木頭村を中心に
3. 学会等名 近世の身分と地域研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 町田哲
2. 発表標題 『地力』と地域社会 徳島大会を振り返って
3. 学会等名 地方史研究協議会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川岡勉
2. 発表標題 四国遍路の形成について
3. 学会等名 四国遍路・世界の巡礼研究センター公開講演会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計27件

1. 著者名 川岡勉・西耕生・胡光・中川未来・青木亮人・モートン常慈・竹川郁雄ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 283
3. 書名 四国遍路の世界	

1. 著者名 胡光・御厨義道ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 坂出市	5. 総ページ数 310
3. 書名 坂出市史 通史上 近世篇(上)	

1. 著者名 胡光・守田逸人・御厨義道・渋谷啓一・上野進・野村美紀・松岡明子・三好賢子・松原潔・田井静明ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 香川県教育委員会	5. 総ページ数 392
3. 書名 香川の文化財	

1. 著者名 胡光ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 263
3. 書名 大学的愛媛ガイド	

1. 著者名 Hasegawa Kenji・Andrea Castiglioni・Fabio Rambelli・Carina Rothほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Bloomsbury Publishing	5. 総ページ数 296
3. 書名 Defining Shugendo: Critical Studies on Japanese Mountain	

1. 著者名 須藤茂樹ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 四国大学	5. 総ページ数 54
3. 書名 古文書にみる薬王寺の歴史	

1. 著者名 須藤茂樹ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 四国大学	5. 総ページ数 60
3. 書名 美馬市立美馬郷土館展示図録	

1. 著者名 須藤茂樹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 徳島県教育印刷	5. 総ページ数 136
3. 書名 小松島の歴史と文化 阿波地域文化の特質	

1. 著者名 ディビット・モートン(監修)、アルバート・モートン(著)、チームPOW(訳)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 176
3. 書名 泰緬鉄道からの生還～ある英国兵が命をかけて綴った捕虜日記 1942～1945(第2版)	

1. 著者名 モートン常慈ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 徳島大学総合科学部	5. 総ページ数 88
3. 書名 令和2年度総合科学部創生研究プロジェクト経費・地域創生総合科学推進経費報告書 異文化に照らし出された四国～グローバルな視点からの地域文化に関する文献調査から～	

1. 著者名 守田逸人ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 608
3. 書名 増補改訂新版日本中世史入門	

1. 著者名 村上紀夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 230
3. 書名 江戸時代の明智光秀	

1. 著者名 佐藤孝之・三村昌司・胡光ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉製出版	5. 総ページ数 338
3. 書名 近世・近現代文書の保存・管理の歴史	

1. 著者名 胡光・大本敬久・高嶋賢二ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大洲市教育委員会	5. 総ページ数 280
3. 書名 大洲八幡神社祭礼総合調査報告書	

1. 著者名 胡光・大本敬久・甲斐希未子ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 愛媛県歴史文化博物館	5. 総ページ数 136
3. 書名 四国・愛媛の災害史と文化財レスキュー	

1. 著者名 川岡勉・矢田俊文ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 高志書院	5. 総ページ数 350
3. 書名 戦国期文書論	

1. 著者名 高倉良一監修 伊藤裕康・鈴木正行・守田逸人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 美巧社	5. 総ページ数 175
3. 書名 法教育・社会科教育とその周辺	

1. 著者名 松永友和ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 神戸新聞総合出版センター	5. 総ページ数 328
3. 書名 えびすさま よもやま史話 「西宮神社御社用日記」を読む	

1. 著者名 松永友和ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 徳島市教育委員会	5. 総ページ数 1041
3. 書名 徳島市史第6巻 戦争・治安・災害編	

1. 著者名 橋詰茂・胡光・長谷川賢二・御厨義道・上野進ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩田書院	5. 総ページ数 516
3. 書名 戦国・近世初期西と東の地域社会	

1. 著者名 長谷川賢二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 阿波和紙伝統産業会館	5. 総ページ数 249
3. 書名 講座麻植を学ぶ(歴史編)	

1. 著者名 長谷川賢二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 480
3. 書名 港津と権力	

1. 著者名 町田 哲、大石雅章、長谷川賢二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 徳島県・徳島県教育委員会	5. 総ページ数 484
3. 書名 「四国八十八箇所霊場と遍路道」調査報告書 無尽山荘蔵院地藏寺	

1. 著者名 胡光他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター	5. 総ページ数 154
3. 書名 四国番外霊場久妙寺総合調査報告書	

1. 著者名 胡光・大石雅章・モートン常慈他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ブックエンド	5. 総ページ数 174
3. 書名 回遊型巡礼の道 四国遍路を世界遺産に	

1. 著者名 大石雅章・町田哲他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 徳島県・徳島県教育委員会	5. 総ページ数 182
3. 書名 四国八十八箇所霊場と遍路道調査報告書10摩盧山正寿院焼山寺	

1. 著者名 モートン常慈他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 教育出版センター	5. 総ページ数 62
3. 書名 異文化に照らし出された四国：外国語文献の調査研究から	

〔産業財産権〕

〔その他〕

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター
<http://henro.ll.ehime-u.ac.jp/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	長谷川 賢二 (HASEGAWA Kenji) (00372227)	徳島県立博物館・その他部局等・課長 (86101)	
研究分担者	守田 逸人 (MORITA Hayato) (10434250)	香川大学・教育学部・准教授 (16201)	
研究分担者	西 耕生 (NISHI Kosei) (30259452)	愛媛大学・法文学部・教授 (16301)	
研究分担者	小幡 尚 (OBATA Hisashi) (30335913)	高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授 (16401)	
研究分担者	寺内 浩 (TERAUCHI Hiroshi) (40202189)	愛媛大学・法文学部・教授 (16301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	モートン 常慈 (David MORETON) (40469333)	徳島大学・教養教育院・准教授 (16101)	
研究分担者	松永 友和 (MATSUNAGA Tomokazu) (40610316)	徳島県立博物館・その他部局等・主任 (86101)	
研究分担者	大石 雅章 (OISHI Masaaki) (50152046)	鳴門教育大学・その他部局等・副学長・教授 (16102)	
研究分担者	竹川 郁雄 (TAKEKAWA Ikuo) (60236445)	愛媛大学・法文学部・教授 (16301)	
研究分担者	町田 哲 (MACHIDA Tetsu) (60380135)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授 (16102)	
研究分担者	中川 未来 (NAKAGAWA Mirai) (60757631)	愛媛大学・法文学部・准教授 (16301)	
研究分担者	川岡 勉 (KAWAOKA Tsutomu) (90186057)	愛媛大学・教育学部・教授 (16301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	稲田 道彦 (INADA Michi iko)	香川大学・名誉教授 (16201)	
研究協力者	内田 九州男 (UCIDA Kusuo)	愛媛大学・名誉教授 (16301)	
研究協力者	神楽岡 幼子 (KAGURAOKA Yoko)	愛媛大学・法文学部・教授 (16301)	
研究協力者	井上 淳 (INOUE Jun)	愛媛県歴史文化博物館・学芸課・課長	
研究協力者	今村 賢司 (IMAMURA Kenji)	愛媛県歴史文化博物館・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	大本 敬久 (OMOTO Takahisa)	愛媛県歴史文化博物館・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	山内 治朋 (YAMAUCHI Harutomo)	愛媛県歴史文化博物館・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	甲斐 未希子 (KAI Mikiko)	愛媛県・まなび推進課・学芸員	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	長井 健 (NAGAI Takeshi)	愛媛県美術館・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	高嶋 賢二 (TAKASHIMA Kenji)	町見郷土館・館長	
研究協力者	石岡 ひとみ (ISHIOKA Hitomi)	愛媛県教育委員会・文化財保護課・専門学芸員	
研究協力者	日和佐 宣正 (HIWASA Nobumasa)	愛媛県教育委員会・文化財保護課・主幹	
研究協力者	北山 健一郎 (KITAYAMA Kenichiro)	香川県・文化振興課・課長補佐	
研究協力者	松岡 明子 (MATSUOKA Akiko)	香川県・文化振興課・副主幹	
研究協力者	田井 静明 (TAI Yoshiaki)	瀬戸内海歴史民俗資料館・館長	
研究協力者	渋谷 啓一 (SHIBUYA Keiichi)	香川県立ミュージアム・学芸課・専門学芸員	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	上野 進 (UENO Susumu)	香川県立ミュージアム・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	野村 美紀 (NOMURA Miki)	香川県立ミュージアム・学芸課・課長	
研究協力者	御厨 義道 (MIKURIYA Yoshimichi)	香川県立ミュージアム・学芸課・専門学芸員	
研究協力者	三好 賢子 (MIYOSHI Masako)	香川県教育委員会・生涯学習文化財課・副主幹	
研究協力者	松原 潔 (MTSUBARA Kiyoshi)	善通寺宝物館・学芸員	
研究協力者	武田 和昭 (TAKEDA Kazuaki)	円明院・住職	
研究協力者	岡本 佑弥 (OKAMOTO Yuya)	徳島城博物館・学芸員	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------